

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第4回 理事予定者会議

日時：2013年 12月 25日(水) 19:30～23:50

場所：コンセーレ バンケットホール

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) : 福田(治)
(顧 問) :
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
(専 務 理 事) : 中島(崇)
(監 事) : 黒川、澤畑、飯野
(担 当 常 任 理 事) : 林
(全国大会招致会議議長) : 羽石
(会員拡大会議議長) : 太城
(協働連携特別会議議長) : 篠崎(達)
(法令会計審査会議議長) : 廣田
(担 当 常 任 理 事) : 金
(事 務 局 長) : 橋本
(委 員 長) : 飯沼、新妻、豊崎、鈴木、木村(武)、中島(晴)、相馬
(副 議 長) : 宮林、渡邊、安野、高松、山田、福田(弘)、八木、
(理 事) : 船見、青木、横島、梅田、岡田

1. 開会宣言 <中島(崇)>(役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <中島(一)>
3. JCIミッション唱和・JCIビジョン唱和 <新妻>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <船見>
5. 関東地区宣言唱和 <飯沼>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事32名/34名
7. 議事録作成人並びに議事録署名人の指名
議事録 <総務委員会>
署名人 村上 正高
黒川 崇
澤畑 敦史
飯野 貴道
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>

10. 理事長挨拶

<村上>

まずは、本日も当たり前のように、この予定者期間最後の会議を開催させていただくことに對しまして、2013年度福田理事長始め、2013年度皆様に御礼申し上げます。

山本顧問をはじめ多くの出向者の方が欠席をしておられるわけではありますが、今日出席している出向者も含めてこの予定者期間、このバトンゾーンと呼ばれるこの準備期間、大変な時期に出向の準備、1月から始まるそれぞれの担いを、本当に大変な想いだと思ひます。

小瀧副理事長に對しましては、全国大会運営会議の副議長ということで今年度のさよなら例会も泣く泣く出席することができない状態でありました。本当に出席をしたかったと思ひますが、それ以上にやはり責任感を持って出向に對して挑んでいることに對して皆様も是非、心を寄せていただきたいと思ひます。

そして、梅田副委員長、今日きていただいていますけど、1月の京都會議の大変な担当をされるということで出向者も含めて、非常に忙しいさなかLOMの本年度、そして次年度の役割を含めて担っていただいていることに對して本当に感謝をするところでございます。

そして、理事会構成メンバーではございませんが、委員長として出向しております赤松栄紀君、そしてここにもいらっしゃいますが金総括幹事はじめとするメンバーの皆様にも本当にお疲れ様でした。そして、1月これは新春例会に出席できないということになります、アメリカのほうにいかれるということでございますので、来年も全力でその担いを全うしていただく応援しております。ここにいる理事会構成メンバーはじめ宇都宮のメンバー全員が出向者を応援するというスタンスで1年間のぞみますので、どうぞ安心して出向での担いを務めていただきたいと思ひます。これは出向者全員ですが悩み事等あれば、私でも中島専務でも誰にでも是非相談していただきたいと思ひしております。

そして、先だって18日に開催させていただいた、本年度の私の御礼そして山本和紀君の励ます会、こちらのほうに多数のご出席を賜りましたことに對しまして、本当に厚く御礼を申し上げます。これは、個人の名前で開催させていただいたところですが、宇都宮JCの会として1年間本当に多くの人にご支援ご協力いただいて、なんとか私も今年の役割を全うできたことですし、同じように山本君に對しましても来年1年間しっかり全うしていただかないといけないと思っておりますので、こちら須山副理事長筆頭に支援体制が整っておりますが、こちらLOMが一丸となって関東地区も支えていきたいと思っておりますので、この気持ちを全員で共有していきたいと思っておりますので宜しくお願ひ致します。さて、先ほど中島専務のほうからメリークリスマスというお話がございました。皆様におかれましては、昨日のイブは家族で又は恋人とお過ごししていただけましたでしょうか。非常に今年の予定がタイトでして、クリスマスの日に会議を開催させていただいて本当に心苦しいかぎりでございます。そして、家族の人にこのJCというのを、まずは、1番理解してもらうためにも、ご家族の方、身近な方、社員の方、堂々とJCの話をしていただきたいと思ひているところでございます。家族、身近な人のご理解、ご協力がないと、JCという活動はなかなか難しいところでございます。それは、もう皆様経験されてわかっていると思ひますが、そして、その近い人に1番理解していただくことが、運動の始まりでございます。是非、ご家族の方とはJCは、どういう活動をして、どんなことを考えて、どんな目的で、誰のためにこの活動をしているかというのを是非しっかりと伝えていただきたいと思ひしております。

そして9月からこの予定者の動きをさせていただいております。今日が最後の予定者としての会議となりますが、委員長の皆様におかれましては委員会がすでに動いていただいて、もちろん事業計画等もしていただいておりますし、なにより来年の運動所信をはじめ、メンバーの皆さんに伝えられていることを、私もしっかりと肌で感じさせていただいております。そして本当に皆様方の責任感、そして使命感には私も本当に頭の下がる想いで、感謝の気持ちでいっぱいです。

この、前回の理事会から、木村委員長が担当している福島支援の動きがあります。そのお話

をさせていただきたいと思います。福島ブロックの来年の会長とお話をさせていただきました、福島ブロック内で調整していただいて、福島ブロックの伊達J Cさんの支援を宇都宮J Cがさせていただくといことになりそうです。もちろん木村委員長の委員会の皆様が企画、この活動をひっぱってってくれるわけですが、あくまでL O M全体でご支援をしていこうというわけですので、伊達J Cの皆様との交流も来年の運動の大きな1つになっていきますので、こちら是非ご協力させていただきたいと思います。

そして、われわれの姉妹J Cであります、ホノルルのチャイニーズJ Cの2014年度の理事長が決まったので、私のほうに連絡がございました。来年は、ケン・サンム君です。私も今年、60周年記念に出席させていただいたときに、親しくさせていただいたメンバーで、今年の副理事長が理事長に当選されたということですので、4月に予定されているホノルルでの事業、こちら是非、人的交流そして姉妹J Cとの交流が我々の地域の発展にもつながってきますので、こちらのほうも、ご期待して参加をしていただきたいと思います。

そして、この会議をもちまして予定者の会議がすべて終了いたします。そして、本年度は26日明日の理事会をもって今年度の公式な事業がすべて終わることになります。

1月までしばし皆様の身に、お休みのときが来るわけです。もちろん、お仕事のかたもいらっしゃると思いますが、大半の方が年末年始とお休みをとることだと思います。是非、今年1年間のお仕事、そしてJ Cについて振り返ってもらいたいと思います。しっかり休んでリラックスしていただく中でも、1つお願いしたいところがございます。所信の中に、したためさせていただいておるんですが、自分自身を追走しというくだりがあるかと思えます。是非皆様が生まれていけ育ったこの街を、是非振り返ってほしいんです。子どものころから誰と接して、どんなところに行ってなにを食べたか、そしてその時皆さんが何を感じたか、それをゆっくりと思い返してほしいのです。それが、宇都宮らしさ、すなわちローカルアイデンティティーという表現を所信のなかではさせていただいていますが、是非この地域らしさ、宇都宮らしさというのを、是非、もう1度再確認していただきたいと思います。

その思っただうえで来年から始まる事業に役にたっていたきたい、市民に是非自分も市民として心を寄せていただいて、この街のよさを確認したうえで来年の事業を進めていってほしいとふうに思っております。

結びになりますが、本当にこの予定者期間、皆様に対しまして私からは、感謝の気持ちでいっぱいでございます。感謝の気持ちでしかありませんが、1月1日からしっかりとした2014年度の運動を進めていくにあたりまして、本日も、有意義な会議ができますことをご祈念して冒頭の私の挨拶とさせていただきます。本日もどうぞ宜しくお願いします。ありがとうございました。

11. 直前理事長挨拶

<福田（治）>

皆さんこんばんは。

本日も、この予定者の最後の理事会に定刻までにお集まりいただきまして誠にありがとうございます。まずは、2013年度といたしまして、先ほど村上理事長からもありましたけれど、パーティーでは、本当に皆様には申しわけないというか、皆様が協力していただいた結果生まれたパーティーではありますが、本当にこの、村上理事長とそして本年度直前理事長の山本君のためのパーティーにお忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございます。また、22日の、12月さよなら例会、皆様の中からも多数参加いただきましてありがとうございます。先ほど、先輩方がY E Gに引き取っていただけるとおっしゃっていましたが、私のもあの日に卒業できないのだと確認いたしました。卒業できないということは、今まで栃木ブロック全体がそうでありましたが、意外に、居残り直前とかは、ポイントの臨時理事会とか理事会にしか出席しません。メインで3回くらいですか。例会には来るみたいな。普通、さよなら例会では、卒業スピーチをさせてもらうのですが、それも無かったので、本当に皆様が必要とあらば、全力で向き合っていきたいと考えておりますので是非お付き合いいただければと思います。

今日は、なんで徳原さんがと思われるかと思いますが、予定者ですが2013年度会期中に行われている会、私も去年おそらく1番最初の会に、先ほどおられた直井先輩にお越しいただきました。もちろん直井さんも、当時は現役でしたが、2013年度には、席がないわけですが、歴代理事長として残っているのであれば、どこか1度だけでも来ていただきたいので、来ていただきました。おそらく2013年度の理事会構成メンバーが直井さんのお話を聞いたのは、最初で最後であります。是非ですね、徳原さんは周年の理事長そして、日本の委員長、今トレーナーを多数取得されて、今後もJCにかかわっていきますので、是非、この14年の度メンバーにラストメッセージとして一言お願いできますかと、私から理事長の代弁者としてお願いをしたい、そして花添えたいと思います。協議に入ると帰ってしまうと思いますが、是非最後のラストメッセージを心して聞いていただければと思います。笑いをとっているところではないですからね。

今日も、多数の議案が、予定者の段階ですが多数の議案が上がっております。

いつも、2014年度の2013年度会期中にお時間を拝借して行われる会議、13年度に感謝を申し上げたおいと専務がおっしゃっていました。これは、ブロックでも、関東地区でも日本でも同じことが行われている、そこで、時間をかりてやるのですから、やはり成果を上げていただきたいと強く思います。本当に今上がっている議案は、事務方、そして1月2月の議案、これが2014年度の本当にスタンダード、土台となっていく議案でありますので是非とも、これは作るほうもそうですけど、後々自分の議案が上がったりもするから、思っていることがあるけど言わない、そういうことは、絶対に無いようお願いいたします。議案に意見がでないように完璧な議案を作るのは、常任、議長を務めであると思えますし、この場で気づけばいいだけですから、それをしっかり皆さんで力を合わせていい事業を作ってくださいようお願い申し上げます。

最後に、村上理事長の所信のお言葉をおかりして終わりにしたいと思います。

我々一人一人が宇都宮そのものである。

本日最後まで、どうぞありがとうございました。

第45第理事長挨拶

<徳原>

皆さんこんばんは。

そんなに大それたお願いだったとは、今気づいたので、何から話せばという気分です。やっぱりこの時期、私も今年含めて12年JCをやってきて7回ぐらい理事をやってきて、一番盛り上がっている時だと思います。そんな中で、初々しさが残る祭儀の会にお招きいただきまして、ありがとうございます。

本当に、ざっと見渡してもフレッシュなメンバーで中には顔も名前も一致しないメンバーも、嘘ですよ。ここのいるメンバーの名前と顔は一致します。本当にそれぐらい、刷新したのだなと、村上理事長の新しい宇都宮を作るという意気込みが感じられる構成メンバーだなと感じられます。

私も、この場にお招きいただいたときに、多少躊躇しました。来年は卒業なのでキャビネットのメンバーでもないですし。なんとなく前例がないことに躊躇してたのですね。これはしょうがないのです。今年の理事長福田君、来年の理事長は村上君、理事長がいうことは絶対なのです。私もそうさせていただきましたし、してきました。やっぱりそれを、涙を吞んでやってきました。

やっぱり恥ずかしいです、みんなわ若々しくこれから運動を展開していく一番ギリギリのところ、老兵がこのこやってきて、お尻のところはすごくムズムズするんですよ。

でも、理事長のいうことは絶対ですよ。それをまずは一つお話しておきたいんですけど、理事長の法則というのがあります。理事長は絶対です。理事長がおかしいなと思うことがありましたら、一番最初の理事長は絶対に戻ってください。これはなんでかという、白も黒もつかないようなものも、この会の代表最終決定賢者として決めているんです。だから様々

ないろいろな問題、監事の角度、委員長、常任、副理事長様々な角度から、みんな思い思いの意見を言ったりと議論を交わしあう中で、最終結論は、一番上の俯瞰的立場からの目線で判断するのです。その人の決断に預けることになるのです。だからこそしっかりと、皆さんリーダー、各チームのリーダーになる皆さんには守ってもらいたい。

彼は、すべてをかけて1年間背負っていく人間であるということ。

そんなことを一つ目のメッセージとして伝えたいと思います。

もう一つはですね、こないだの焼き直しになってしまうネタになってしまうのですが、ブロック協議会で最後話したことなのですが、こないだ話したなかでもパーっと見ても善君とか澤畑君なんかはどうせ聞いていないし、どうせ覚えていないのでここで使っちゃおうと思います。彼らは、きっと寝ていたと思うのでわからないと思いますけど。

皆さん先ほど、JCIクリードとかJC宣言とかやるじゃないですか、ここにいる人は理事だから暗証できている前提で皆さん臨んでもらっている、当たり前ですが、本当はその意味をかみしめてもらいながら、やってもらいたいです。すごく重要なことが書かれています。そして、皆さんがそれぞれ担当してもらって運動、事業の根幹からの意味がそこには記されているのです。英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を作ろう、綱領の最後に。この英知と勇気と情熱ってそれぞれにちゃんと意味があるのです。

英知とは変えてはならないこと、変えてはいけないことを見極める英知。

そして、勇気。変えなければならぬことを変える勇気。

情熱、変えてはいけないものを守る情熱。

これをもって自分たちの運動を作っていく。村上理事長の掲げるビジョンである所信に書いてある、こんな街にしたいにあたって、これは変えなきゃいけないか、いやこれは変えてはいけないというものを見極めてください。そして、変えなきゃいけないと思ったときは、変えてください。守っていくものは熱い思いをもって守ってください。なぜ守るのかということをかみしめながら、そのすべてのことをやっていくのが皆さんです。この綱領に書かれていることが根幹です。どの事業にも言えることだと思いますよ。だからぜひともそんなことを胸に1年間やっていっていただけたらと思います。

最後になりますが、この若々し新たな新生宇都宮の2014年度の理事会構成メンバーの皆さんが更なる飛躍をすることをご祈念して第45代理事長徳原からの応援のメッセージとさせていただきます。

ありがとうございます。

12. 役員報告

<中島(崇)>

まず私から2点ほど。

まず1点目ですが、事務局の開局の時間が2014年度より変わります。

本日上程があります2月議案にも記載されておりますが、月・火・木・金が開局、開局時間が10時から17時に変更されます。水曜日はお休みです。

今後、案内文には事務局の開局時間などを記載する際に間違いないようにしてください。

事務局に用事があるさいも、間違わないよう気を付けてください。

理由といたしましては、3時に閉まるのは早い。実質今の事務局が3時に閉まるのは現実問題少ないというところで、週4日ですが、5時まで開局していたほうがいいのかということで、週の開局時間が4時間伸びますのでこういう形にいたしました。宜しく願いをいたします。

もう1点ですがカレンダーです。ジメールをもちいての登録ですが、ほぼ登録されていますが、まだカレンダーの同期をされていない方いらっしゃいますか。されていない方は早急に対応するようにお願いします。橋本事務局長まで報告をお願いいたします。

<青木>

宮まつり委員会予定者の青木でございます。来年の1月15日水曜なのですがおたりやが、二荒山神社で行われます。J Cの数多くの皆様のご参加宜しくお願い致します。

<金>

日本J C相互理解確立委員会に出向させていただいております。各委員会から多くのメンバーを出向させていただいております。いわゆる赤松チームですけれども京都会議におきまして相互理解プログラム委員会の公開委員会を実施させていただくことをご報告いたします。1月24日金曜の16時15分~18時まで国際会議場のルーム558というところで相互理解プログラムを外国人の方をお招きして実施をいたします。この相互理解プログラムを年間国内外で60回実施をしていく委員会でもございますし、是非京都にお越しで国際会議場付近におられる方は一度見学に来ていただければ幸いです。

<篠崎(達)>

関東地区協議会事務局に出向させていただいております篠崎でございます。京都会議中に、同じ金曜日19時より関東地区ナイトを開催させていただきます。こちらの案内文は専務のほうにいつているかと思っておりますのでとりまとめお願いいたします。会長を排出していますので、数多くのメンバーのご参加を宜しくお願い致します。

<中島(崇)>

先月の理事予定者会議におきまして木村副理事長からご依頼ありました。ビジター候補者の報告各会議、委員会代表者1名ご報告お願いします。まずですね、拡大委委員会から、紙資料のビジター報告でビジター回数が乗っておりますが2011年からさかのぼって書いてあります。もちろん参加されている方を再度プッシュしていただくこともできますが、ご報告お願いいたします。

協働連携特別会議議長

私たちの会議体として、先日太城議長にはご報告いたしました。駒生町にあります高橋モータースの専務の方が30、31歳くらいだということです。真岡J Cの手塚副理事長から紹介をいただきました。

全国大会招致会議議長

全国大会招致会議報告させていただきます。

委員会のほうに募りましたところ21名上がりました、21名中ビジター報告の中に入っている方が2名、それ以前にビジターできていただいた方が1名。

川上勝巳君の紹介で、北条あつし君前設備。細野のりあき君、細野工業。長山優君、株式会社オーラス。

生沼君の紹介で、よしまかずひと君。増渕君、株式会社無限開発。亀田君、亀田産業。

阿久津君、みずほの保育園。竹井まさひろ君、竹井農器具。

福田の紹介は、佐藤こうだい君、北関東工管。菊地しゅん君。鈴木けんいち君、関東建築。木村ひろし君、木村畳店。

村上君の紹介で、石川あつし君、石川土建。池田君、池田石材。

山田副議長の紹介で、小牧君、株式会社小牧工業。

羽石議長の紹介で、福田さん、アクトシステム。

大塚君の紹介で、高橋ゆうせい君、株式会社アドセン通。藤井あつし君、藤井塗装工業。片岡ひろみ君、株式会社総研。君嶋かずのり君、株式会社アース。野沢ひろゆき君、のぞわオールパーリング。以上21になっております。

青少年育成委員会

青少年育成委員会では、委員会として募っていませんので人集めにはたちしてはいないのですが、西田インテリアの取締役社長さんに交渉していますがまだ確約は取れていませんが、今後引き続きお話をさせていただきたいと思います。

政策委員会

制作委員会の報告をさせていただきます。総数15名の候補者を挙げております、新春例会で5名のビジターをお招きする予定です。

地域交流委員会

本人の確約は取っておりませんが、平成スマイル産業の一人息子、渡邊かずなり君になります。

宮まつり委員会

宮まつり委員会より発表させていただきます。まずリストに取っておりますが、宇都宮サンテニスの青木君。こちらは継続的に促しているところであります。また、竹井農機具の竹井君そして、おおたに保険事務所の大谷君以上3名にお声がしております。継続的にやっていきたいと思います。

JC 運動発信委員会

JC発信委員会の豊崎です。メンバーのほうのとりまとめがまとまっておりませんので、私の方から紹介させていただきます、仕事の齋藤産業の齋藤かつのりさん32歳という方がおられます。新春例会に来られないかと促しております。確約が取れましたら拡大委員会さんにご報告させていただきます。

渉外委員会

渉外委員会では、まだまとまっておりませんが日光金属の佐藤しょうたろう君歳が33歳で新春交流会に来ていただくようにお声が決しています。確約が取れましたら拡大委員会さんにご連絡差し上げたいと思います。

総務委員会

総務委員会からは、1名上がっております。土谷運営幹事からのご紹介で、かたせさちこさんさくら市の方で飲食をやっている方で、後継者です。例会などにご興味あるようなので1月もしくは2月お誘いしたいと思います。確約が取れましたら太城議長にご連絡差し上げます。

法令審査会議

法令審査会議の渡邊です。法令審査会議では、3名のビジター、確約は取れていませんが ヒートランド株式会社高久ゆうじ君30歳、私が拡大の時に一度声がけ押し興味は持っているため再度お声がけいたします。 駅東で飲食している上田さん30歳です。 桜とおりのび駅東で飲食をやっております、小林さん30歳が候補にあがっております。例会に来ていただけるようにお声がけしていきたいと思います。

木村副理事長

皆様こんばんは、貴重な情報ありがとうございます。まず40名のビジター候補者を例会等に連れてきていただきたいのと、随時、連携をとってビジターの情報を宜しくお願い致します。

す。

太城議長

皆様多数の情報ありがとうございます。確定しなくても、お名前だけでもメールでいただきたいと思いますので、その辺は共同で来ていただけるような形をとりたいと思います。紙資料でお渡しさせていただきましたが、過去3年のビジターが、年齢的に入れない方を抜いたものです。また、ここから時もたっていますので気持ちが変わったり、心境、環境が変わったりだとかありますので、ご紹介していただいた方々に個別にお話しさせていただきたいと思いますので、宜しくお願い致します。また、朗報ですがリストの72・73・74の松本君、小野君は1月で入会確定です。宗像君は、今個人事業主なのですが、法人化でき次第入会するという事です。

13. 確認事項

確-01 2014年度 理事長所信について

冒頭

【はじめに】	<村上>
【世界とのつながり】	<宮林>
【JCは学び舎である】	<渡邊>
【市民が主役のまちへ】	<飯沼>
【市民意識の変革】	<新妻>
【共助の精神】	<船見>
【真の「公」をめざすために】	<豊崎>
【市民の信頼と社会の負託に応え得る組織】	<鈴木>
【未来への希望】	<木村（武）>
【結びに】	<横島>

※上記を熟読致しました。

<村上>

この予定者期間の中では、理事の方には幾度となく私の書かせていただきました所信を読んでもらったことに対して改めて御礼をすところであります。私はこの所信を書くにあたって、前にもお話しさせていただきましたが、それぞれの委員会がこれをしてほしいからこれを書いたという意図は無くですね書かせていただいたところです。すべての委員会にかかわることが所信のすべてに関わっておりますので、この年末年始の期間に再度読み込んでいただいて、来年それぞれの委員会に説明をしっかりとできるようにしていただきたいと思います。

ありがとうございました。

14. 協議事項

協-01 0210-251225K 2014年度 事業計画（案）・年間事業フレーム（案）について

<飯沼>

2014年度年間事業（案）協議上程いたします。前回の理事会、今月の正副、常任から出たご指摘をそれぞれ会議体、委員会の中からいろいろ改善していただいたものを添付資料に添付ご一同ください。慎重なるご協議のほど宜しくお願い致します。

法令審査会議

<廣田>

前回理事会から、変更はございません。慎重なるご協議のほど宜しくお願い致します。

総務委員会

<飯沼>

前回常任理事会からの変更点は、18行目社会の負託にこたえる公益性と透明性の優れた組織の確立に寄与しますと、あった部分を透明性の優れた組織を確立しますという表現に変えております。以上でございます。慎重なるご協議お願いいたします。

<福田（治）>

4行目 LOM の統治と書かれていますが、命令するのかわどんなスタンスなのかお答えください。

2行目ですね。厳正な組織運営とありますが、厳正な組織が土台にあります、厳正な組織とは具体的にお答えください。

17行目強固な組織基盤を構築することとありますが、それはいったい何によって構築されるのか、それをお答えください。

<飯沼>

2つ目のご質問にありました厳正な組織について説明させていただきます。当初ここに厳格という言葉を使っていました。それをあえて厳正という言葉に変えた理由は、厳正という言葉は規準をかたくなに守る。規準というのは規律の規に準ずる、つまり組織で決めたルールをしっかりと守りながら運営する組織、総務委員会の立場としてこの会が決めたルールにのっとりこの会を運営していく、下支えする、というところで厳正に直させていただきました。厳格という意味を調べますと、もう少し抽象的なイメージがありまして、妥協を許さないといった意味でした。規準を守っていきながら理事会を運営し、ルールにのっとり組織を作っていくという意味で厳正という言葉を使わせていただいています。

それに準じまして、1つ目のご指摘にあった LOM の統治という言葉が適切なのか迷いました。最初は、ガバナンスという言葉を使っていたのですが、これは一般企業に使う言葉であり、公益法人には向かないということなのでこの統治という言葉を使ったのですが、考えとしては、規準を守っている状態を統治と捉え、規準をみんなが守っていることを統治呼んで、それをより強化するという意味を込めて、LOM の統治をより強化しという言葉を使いました。3つ目の質問ですが、鞏固な組織基盤というところ、事務方が規準を守り、会を下支えするというところで、理事長がおっしゃっている市民運動の波及というところは、会議、委員会でいきますと事業系の方々が、活躍する場だとは思いますが、事業系の方々が、市民運動を波及させていくには我々事務方が、強固な厳正なる組織運営をした組織基盤がなければいけないという思いで、強固な組織基盤を構築することが、市民運動の波及の礎になっていくだろうと考えたうえでこういう表現人になりました。

<福田（治）>

強固な組織基盤とは何によって構築されるかということで、もちろん厳しく規律を守ることでもそうですけど、JCの場合それだけじゃないはずですよ。そのうえで、LOMの統治がどのようなスタンスで書かれているのかを聞きたかったので、文章を直せとは言いませんが、総務委員長として飯沼委員長のスタンスをしっかりと理事会構成メンバーにどのように1年間望んでいくかをこの文章で聞きたかったので質問させていただきました。

頑張ってください。

渉外委員会

<新妻>

変更点ですが、前段の1～5行目の文言の精査させていただきました。ここにLOMに対す

る組織支援は前からあったのですが、存在自体を周著するということを入れさせていただきました。また、中断部分ですが9～11行目の文言の精査をいたしました。慎重なご協議を宜しくお願い致します。

<福田（治）>

質問です、関係諸団体とありますがこれらがどういったものか、お答えいただきたいのと、10行目ですけれども彼らというのが存分に活躍できるようにというところの、彼らがという書き方がいかなものかと思しますので、できれば変更いただければと思います。

<新妻>

関係諸団体ですけれども、宇都宮JCが運動するうへでご協力できる団体のことを指しています。関係諸団体とは宇都宮でご活躍されている方々の中でJCを応援していただいているかたです。

JC運動発信委員会

<豊崎>

前回からの変更点として、18行目文末のところ、確実に務めますから、確実にしますに変更させていただきました。前回からの変更点は以上です。慎重なご協議宜しくお願い致します。

<福田（治）>

理事長所信では、ながらくJCではと書いてあると思います。今は違う部分も多いと思いますし、その辺を委員長がご理解しているかがしりたかったのでご質問させていただきました。村上理事長は、積極的になってきている流れを捉えて、それを追及させる考えだと思います。それをわかったうへで書いてほしい。

6行目、PR映像による地域やメディアにアプローチとありますが、どのようなものか聞きたい。

4行目、存在意義をアピールしてから組織の周知をアピールしていかなければいけないというのは順番が逆だと思います。

7行目、PR映像を用いメディアにアピールして文章が変わっているのかわかりませんが、地域に対する宇都宮JCをよりわかりやすく魅力的に伝えるとともに、同世代の青年層にもPR映像を用いて意義ある魅力を伝えるかどうなのか。伝えるように書いてありますよね。PR映像の使い方が新しい裁量行政の変化をもたらしていればいいのですが、そうではない場合は、全体的な構成を直していただきたい。

16行目、ブランディングがいきなり出てきますけど、専務か事務局長とブランディングについて話しているかを答えてください。

<豊崎>

PR映像を委員会のほうで制作させていただいていますが、映像を使用して青年層も含めた宇都宮JCで行われる公益事業において、映像を用いてアプローチしていくという意味で書かせていただいています。PR映像の中で宇都宮JCの魅力、取組みを映像化しまして、それを用いてJCとしての思いを伝えていきたいという思いで記載しました。

16行目のブランディングですが、理事長所信から引用していますが、専務事務局長とは相談させていただいていません。私の方で記載いたしました。

<福田（治）>

専務と事務局長と話してください。

<小瀧>

8行目の、情報の双方向性高めます。と書いてありますが、見ている側からの発信だと思いますが、受信側からの発信できる体制はどう考えていますか。

<豊崎>

ホームページで観覧者から意見を受け付けられる項目をもうけようと考えています。

宮まつり委員会

<鈴木>

常任理事の意見からの変更点は、4行目17行目と市民の関心を深める、という深める部分で、深めると高めるどちらが適切かということですが、私なりに調べたら、高めるは団体を示します。なので、ここは市民の関心を深めるままで行きたいと思います。以上です。

<福田（治）>

1行目から3行目のみうけられますは必要ですか？

なんのためにいれているのかなと思い、地域に住み暮すでもいいと思います。

前の分も雑駁じゃないですか。

急速な経済発展が、無頓着な社会を招いた文章です。

<鈴木>

持ち帰ります。

地域交流委員会

<木村（武）>

前回から大きく変わっているのは、3行目の姉妹J CのホノルルチャイニーズJ Cと一部の交流としかされておらず関係が希薄になっており、LOMと有効な交友が必要だということを変更しました。

あとはところどころ言葉を精査させていただきました。

<福田（治）>

4行目のところですが、姉妹J Cとの交流が運動の最大化を図るために交流をする書き方になってしまいましたが、僕が思うには、それだけでは運動の最大化にならないと思うので、その理論の説明できればお願いします。

<木村（武）>

持ち帰りさせていただきます。

<福田（治）>

10行目の、継続的な人的交流を行う仕組みづくりをしまう。具体的な人的交流のビジョンをお答えください。

<木村（武）>

継続的な人的交流とは、伊達J Cさんをつくっていかうと思っています。1年で終わらせてはいけないと思うので、復興が終わっても確実に原発問題は残るので、LOMとLOMが長く交流できるようなものを考えております。新春交流会など、お互い行き来していければと思います。

<福田（治）>

11行目の災害発生時に、迅速かつ的確な窓口になります。とありますが、災害が発生した時情報が入ってこない中、具体的にどのようにするのかをイメージしといてください。各種支援の強化ですが基本ブロック、地区などの窓口は専務理事だと思います。今後、委員長

がするのですか。

<木村（武）>

持ち帰りさせていただきます。
専務理事の、お手伝いを迅速にするようにします。
具体的にはできていません。

<福田（治）>

この最後のJ C運動の最大化も、姉妹J Cの交流が運動の最大化がイコールではないと思います、2014年度の理事長は、姉妹J Cの交流をはじめて理事をやられた時から窓口になって牽引してきたの、姉妹交流を任されているのですから、この部分に関して、村上理事長の思いをしっかりと受けてほしいし、きれいごとを並べるだけにはしてほしくないから質問しているのです。自分が書いた文章に責任をもっていただきたいです。

政策委員会

<中島（一）>

前回からの変更点といたしまして、7行目のJ Cの先輩としてということで、宇都宮市長の部分を削除修正させていただきました。

<福田（治）>

4行目から、現代社会で求められている市民自ら、なんか文章おかしくないですか。
10行目、全体的におもいや活力が出てくるのですが急すぎないですか。
12行目、フォーラムを開催するので情報共有を行っている行政と、フォーラムを共催するのですか。行政と共催すると、市でしていることと同じなので宇都宮J Cのカラーを出せるのかが不明なので変更してください。行政と情報共有とありますが、行政は部署が沢山あり情報が沢山ありますが、どのくらい必要なのですか？
3行目の市民意識の改革が必要です。理事長所信では、改革が必要ではなく、スローガンのほうがいいかと思います。
18行目市民が理想とする社会とはどのような社会ですか。

<中島（一）>

持ち帰りいたします。

<小瀧>

3行目の市民意識が必要です。9行目の我々が市民として地域をよくするという意識環境と我々が地域をよくしようとする当事者意識を持って行動するとか、自らの意志で、積極的に地域をよくするとか、似たようでちょっとずつ違う文言がちりばめられているので、同じような文言に精査してください。

青少年育成委員会

<相馬>

先月の予定者理事会から今月の常任理事化の意見を修正させていただいています。4行目から5行目の文章を修正いたしました。そして6行目の中盤、スポーツを活用しに修正させていただいています。
17行目、そこも少し修正させていただいています。

<福田（治）>

11行目ですけど、社会で生きていくための人間関係を学ぶ機会を、わんぱく相撲で提供するのですか。

<相馬>

ころころは、わんぱく相撲でたくさん子どもたちが集まるということなので、コミュニケーションをとって行く中で、大人になってもコミュニケーションが取れるようにということです。

<福田（治）>

社会だととびすぎじゃない？小学生だし。人としてのほうがいいのでは。

16行目に書いてあることのほうが近い。社会で生きていくためにやっていくのは僕らがやっていることだと思います。礼儀・礼節とかそういうには学べます。

15行目地域とのつながりを大切にすることで自分の街の帰属意識を高めます。自分の街とは、理事長所信にでてこないのでは変えてください。

18行目元気あふれる市民へと、市民を使いたいのはわかるが、対象を子どもにしてもいいと思う。青少年育成をうたっているわけだから対象を子どもにしていると思います。最後に元気あふれる市民より、宇都宮でも使っている元気あふれる宮っことか。最後まで飛んでいる気がします。

<相馬>

修正させていただきます。

全国大会招致会議

<羽石>

前回からの常任理事会からの変更点を述べさせていただきます。変更点を述べたいと思います。17行目18行目になります。2014年度収まるニュアンスがありましたので、ここを精査しました。直したのは、まず何をすべきか、基本に立ち返りまして2014年度といたしましては、いま行っている全国大会招致を一層推進させることが一番すべきことと考えましたので、文章としては、われわれの故郷である宇都宮が更なる飛躍を遂げるための第一歩とするべく、より一層全国大会は招致を推進させます。に変更させていただきました

会員拡大会議

<太城>

まず会員拡大グループはなくなったので、削除いたしました。前回からの変更点はございませんのが、誤字脱字等内容に精査いたしました。

協同連携特別会議

<篠崎（達）>

前回常任理事会からの変更点ですが、多数ありました。

まず、5行目の精査。

また、JCナッシングバットキャンペーンの目的が違うので調べて本当の目的を書いてくださいということでしたので精査させていただきました。

<福田（治）>

1行目ですけどはたから見れば勢いがある、はたから見なくても勢いあるので、そのくだりはいらんと思います。

<篠崎（達）> こちらのほうの文言も、年内には修正いたします。

<福田（治）>

JCナッシングバットキャンペーンのところなのですが、意識向上が目的じゃなくて、目

的たち成に向けてっていうのは、J C Iのナッシングバットキャンペーンなのか、U I M D G Sなのかどちらですか。目標というのは、基本的に村上理事長が、国際常任として牽引してきたのは、人に命を救うことではずなので、このあたりを再度理解を深めて書かれたほうがいいと、意識を高めるのが目的ではない、そこは平和ぼけしている日本人みたく見られてしまいますから、大変だとは思いますが再度理解を深めたいうえで書いていただきたい。

<村上>

福田理事長ありがとうございます。福田理事長から細かい部分をご指摘いただいたわけでありあますが、本当に言葉の意味、書き方を、所信を書くにあたって読み手に伝わりやすいように構成したつもりです。

文章の構成の仕方参考にできるところは、参考にしてもらえばと思います。

全体的に、最後の3行の落としどころをすることによって、どういう社会ができるのか、どういう効果が出るのかと書いてもらいたい。

今日見ている書き方がうまいなと思ったのが、宮まつり委員会です。

非常に書き方が上手なので参考にしてください。

協一〇二 〇二 〇三 一〇ー二五 一 二 二 五 K 1月例会 新春交流会開催計画並びに予算(案)について

<新妻>

事業概要のところですが、なんのためにやるかということをお話しさせていただきます。

新春恒例会は宇都宮 J C がきていただく方に J C 運動の周知、また宇都宮 J C はこんなことをやっていますよ、と来賓の方々に、広く伝えるためにやらさせていただきます

また、来賓の方、関係諸団体、シニア、先輩方、来訪 J C とありますが、この方々をよくみると、関係諸団体の方は宇都宮市民にとっても太いパイプを持っている方。シニア、諸先輩方よく見れば宇都宮でご活躍している方でございます。こういう方々を通じて宇都宮 J C の運動を広めたいという目的で開催させていただきたいと思っております。

10 番の事業内容ですが、議長・委員長挨拶のところでは前はメンバーと一緒に登壇することでしたが、時間を短くするために、議長、委員長全員にあげいただき、スピーチの持ち時間を1分とし簡潔にさせていただきたいと思っております。その後、十分な時間を使いましてご来賓の方と交流をもつていただければと思います。

議長挨拶をするときに、委員会名をパワーポイントでだします。

議長、委員長のリハーサルを、1月6日の臨時理事会終了後、理事新年会の前の時間を使いまして正副の前で発表させていただきます。

<中島(崇)>

パワーポイントの画像ですが、バッジをしていなかったり、ネクタイをしていないものもあるので、統一してある写真で統一したほうがいいのご意見があります。

<小瀧>

以来事項の、議長、委員長のスピーチは、1分以内、400字と書いてありますけど、いつまでに作って、どの場で確認するのでしょうか。

<新妻>

常任・副理事長の方にチェックをしていただいて、1月6日までに仕上げてください。

<太城>

小瀧副理事長と同じなのですが、上役が木村副理事長1人しかいないので、6日の時点で木村副理事長がOKを出せばそれでいいのでしょうか。

リハーサルの時に、スピーチの内容までチェックされるのか、動きだけなのか。

チェックされるのであれば、6日までに理事長まで見ていただいた方がいいのではないのでしょうか。

<新妻>

副理事長がチェックし、1月6日の段階でなにかあれば直してもらおうと考えております。

<岡田>

理事長所信を皆さんの前で発表いたしますとなっていますが、理事長挨拶があるに、理事長に読み上げてもらうのですか？

<新妻>

理事長所信は、理事長挨拶ということで書かせてもらいました。

<青木>

参考審議対象一覧の10の議長委員長紹介のパワーポイントの文字の構成がよくないと思います。統一性がないと思います。

<新妻>

統一が図れるよう再度精査いたします。

<安野>

審議資料の9番の御礼嬢ですが、西暦表示になっていないので直してください。今の時点で招待者の出席はどのくらいか教えてください。

<新妻>

お礼状再度精査いたします。
参加を申し込まれているのは現段階で24名になります。
総数は数えきれていません。

<高松>

パワーポイントなのですが、〇月例会の時は、実施月はいらぬのではないかと思います。

<新妻>

検討させていただきます。

<山田>

コートのお預かりと返却の件ですが、返却の時は、預かった場所よりは、送品と同じところに用意したほうがすばやくコートをお返しできるので、そのようにしたほうがよいかと思います。

<新妻>

対応させていただきます。

<福田(弘)>

祝電のお礼状ですが、3行目、新春交流会おきましてはご態様のところとありますが、ご態様はいらぬのではないのでしょうか。

<新妻>

再度文言の精査をさせていただきます。

<須山>

この例会に対して1番懸念していることはなんでしょうか。

<新妻>

参加していただくメンバーに役割が、皆さんに伝わるかが懸念していることです。委員会から、皆様の委員会に、役割を伝えますので、その際は宜しくお願い致します。

<須山>

この例会の目的はなんですか？

<新妻>

参加していただける、各諸団体、シニアクラブの皆様、宇都宮JCとはどのようなものなのか、また2014年度はどうなのかと、広く周知させていただく場だと思っております。

<中島(崇)>

新春交流会の議案につきまして、審議が明日の本年度になっておりますが、審議を1月6日の臨時理事会に変更させていただきます。この意見をすべて対応して明日の理事会にご確認していただくのが物理的に不可能、またPR映像のお金に関しましては事業費からは出ませんので審議の対象ではございませんが、どのようなものを流すのか参考資料につけた方がいいという意見もございますので、1月6日が最終上程とさせていただきます。

<福田(治)>

この段階でたくさん意見をいただくのはあまりよくないので、理想を言えば前月までに審議をとることが理想ですから、そこは委員長も真摯に受け止めて事務局とともに、今日いただいた意見をしっかりと反映させてください。2014年度の新春交流会というのは、今まで以上に来訪JCの方をお呼びしていると思います。帰られる方もいれば、お泊りになる方もいます。この後に懇親会を設営していると思いますが、理事長も私も出向している方もお客様ようにお付き合いしなければいけないので出席が厳しいかと思うので、専務と相談したほうが良いと思います。

<村上>

新妻委員長ありがとうございます。いろいろなご意見をいただきましたが、委員長の中で目的等クリアになっているのが、この議案ですごく見受けられますので、細かいところをご意見いただいていますので、よりよく対応していただければと思います。

一つだけ変更していただきたいのですが、

10番の事業内容の概要のところですけど、私たちの長であります、第48代理事長村上正高君の所信と、ありがたい表現をいただいています、議案にわれありの長とかいらないと思います。

私も個人として所信を書いているつもりはないんですね。2014年の宇都宮JCとしての立ち位置で書いていますの、立てていただくのはありがたいですが、議案としては、好ましくありません。

協一〇三 〇二二〇ー二五1225K 第109回通常総会(案)について

<飯沼>

事業要項等は一読ください。

事業概要も一読ください。

本年の効果と工夫の部分が、来年と変わらないのではというところで、委員会内でも悩んで

検討いたしましたして、本年の効果と工夫を変えさせていただきました。内容といたしまして参考資料のように、1月6日から委任状発送予定から1月31日に通常総会を開催するにあたって、委任状の100パーセント回収、定刻開催、出席率向上いかに高めていくかということで、効果的なタイミングでメンバーに対してフォローする、また理事会メンバーの皆様に、メンバーのフォローを計画的にしていこうと思います。
例年やっていることだと思いますが、スケジュールリングを記載いたしました。

<安野>

議案書の、事業予算書が飛ばないので、しっかり作りこんでください。
事務局最初の作りこみが、見本になりますのでしっかり作りこんでください。

<渡邊>

10番項のタイムスケジュールですが、フォーマットが崩れてしまいます。

<飯沼>

ブラウザのバージョンが絡んでいることだと思いますが、崩れないように考えてみます。

<羽石>

意見です。議案のファイルが開かない、壊れてしまう等ありますので、ブラウザについてもある程度指定しフォローを総務・JC発信したほうがいいのではないかと思います。

<福田(弘)>

予算書上特別会員の郵送費を計上していませんので、呼ばない形だと思いますけれど、定款上は、正会員でやることになっておりますが、何年か前の記憶で、螺良議員が特別会員としていらっしゃっていた記憶があります、昨年度は、計上されていないものはそのままだったと思いますが、新春例会の際、特別会員に入会されて、そのごの例会参加されるのか、わかれば教えてください。もしわからなければ、見解の違いをすりあわせたほうがよろしいのかと思います。

<飯沼>

専務と事務局長と相談のうえ見解の違いを統一いたします。

<村上>

内容に関しましては、何もありませんが、先ほど、でましたブラウザ等の問題は、今日までは予定者の会議ということで、1月に入ったら本番ですので、間違いなくないようにしてください。そこだけクリアにしてください。

協一〇四 〇七一〇ー二五一二二五K 2月例会 市長を囲む会開催計画並びに予算(案)について

<中島(一)>

事業内容について、2月例会市長を囲む会(案)となります。
事業要項、日時、目的、事業概要に関しまして、記載したとおりなのでご一読ください。
事業内容につきまして、目的たち成の内容を説明させていただきます。
まず、例会に先立ちまして事前アンケートをJCメンバーに対して行います。事前アンケート

トを行うことで宇都宮市政の理解度をどの程度もっているのか、また、意見、考え、質問事項等、メンバー皆さんが持っているのかを把握するために、行います。

全体概要といたしまして、第1部講演40分、第2部市長とJCメンバーの意見交換会ということで30分、の2部構成で行いたいと思います。

こちらの、開催タイトル並びにテーマ選定につきまして添付させていただきましたけれど第1部、みんなの住みやすい街宇都宮に向けてということで、第5次宇都宮市総合計画として、前期5年が終了いたしましたして、後期5年に入っております。そちらにつきまして、今までのとりくみと今後の宇都宮市政として展望という形で宇都宮市長から、ご説明、ご講演していただきます。

それと、実地基本条例につきまして、宇都宮市の市民協同をめざす上でこちらにつきましてご講演いただきたいと思います。

実地基本条例が、みんな住みやすい街宇都宮にむけて、市民みんなが住みやすい街ということで目的をもってタイトル設定いたしました。

第2部につきましては、事前アンケートに基づきまして、宇都宮市長との意見交換会と考えております。

こちらにつきましては、市民協同といたしまして宇都宮JCとしての行政と協同という意識を高めるためにも積極的に出させていただいた意見を、市長と交換し、回答解説等をしていただきたいなと思っております。

市民協同といたしまして、タイトル、考えよう私たちの街宇都宮とつけました。

3分間スピーチで市長から意見をいただきます。

今年の市長例会でもあったと思いますが、ビジターと理事長と写真撮影を盛り込んでおります。ビジターさんにとって、なかなか市長と接する機会が少ないと思いますし、また、本年度のメンバーの意見を吸上げて採用させていただきました。

例会終了後、アンケート調査をして、例会を通して、どのような意識変革があったかを検討していきたいと思っております。

タイムテーブルに関しましては、記載のとおりになります。

前年度からの引継ぎは記載のとおりです。

本年度の工夫と、期待される効果といたしまして、事前アンケートは、委員会メンバーが各委員会を回ってアンケートを実施し、回収することによって、回収と、例会案内を同時にできるので、例会の意識づけになると思います。

事前アンケート配布の時に、第5次宇都宮市総合計画のプリントを配布いたしまして、例会前に読んでいただき、宇都宮市の取り組みがわかり、また市長の講演も理解しやすく、効率の良い講演ができると予想されます。

写真撮影では、会場にプリンターを持込その場プリントし、ビジターに渡すことによって確実に本人に渡すことができました、記憶の薄れる前に、渡したいなと思っております。

例会終了後、参加メンバーによるアンケート記入により、例会の目的に対する検証ができます。

また、メンバーの市政に対しての調査もでき、今後の例会設営につながります。

ビジター対応員を配置させ受付終了後、拡大メンバーに引継ぎすることによって、ビジターさんの孤立を防ぎ、来やすい環境づくりをして、今後のビジターの動員、会員拡大につながって行くことができます。

ビジターさんにJC用語集を配布いたし、開催前に読んでいただき、JCの内容などを理解していただき、なじみやすい環境を作ることによって、今後のビジター動員、会員拡大につながっていきます。

以来事項といたしまして、市長を身近に感じる良い機会ですので大勢のビジター動員にご協力お願いいたします。

政策委員会より、事前アンケートをもってうかがいます。

事前アンケートにつきましては、ご協力ください。

<中島（崇）>

参考資料ですが、第5次宇都宮総合計画ですが、開くと画像が荒いので容量を軽くすることが目的でこうなったのか、お答えください。

<中島（一）>

こちらにつきましては、議案のフォルダーが3MBということだったので、容量を落とした結果になります。

各委員会メンバーさんに配布して読んでいただくものは、こちらになります。

宇都宮市のHPにも記載されています。

<飯沼>

専務のほうから指示をもらい、容量を小さくすることが目的ではなく、それにより理事会に支障きたすと意味では本末転倒です。3MBぐらいを目標とすると変えていますので、トータルが4MBになってもUPは可能ですので、よろしくお願いします。

<高松>

資料を作っていたいただいていると思いますが、宇都宮JCとはが2行になっていますので、もっと膨らませていただくとよりよくなると思います。

<鈴木>

事前アンケートについて、集計方法をおしえていただきたいなと思います。

<中島（一）>

事前アンケートの集計方法ですが、項目ごとに分けて集計いたします。意見につきましては、同じジャンル、質問、意見等に分けて、市長に提出したいと思います。

<鈴木>

審議が通ってから1ヶ月しかないけれど、スケジュールは大丈夫ですか。

<中島（一）>

集計自体は140名ほどなので、全部集まれば1日でできますので、どのくの期間で回収するかは決めておりません。持ちかえらせていただきます。

<木村（敏）>

ビジター案内配布の資料組織図を本年度のものにし、委員会名記入しその下に何をする委員会なのか書けばわかりやすいのではないのでしょうか。

<小瀧>

JCの資料ですが、日本JCは、JC Iの中の、いち国家JCなのでよく精査してください。ビジターさんに配る資料なので太城さんと連携して、拡大につながるようにした方がいいと思います。

<朝田>

おそらく、ビジター配布用語集は今後使えるものなのかなと思われるので、できればですね、JC発信運動さんも連動したほうが良いとおもうのですが。

<太城>

JC用語を、そのときにきたビジターに渡しても意味がないです。

重要なものは公益社団法人宇都宮 J C をいかに伝えるかですから、用語集を渡されてもみませんね。他の部分を膨らませていただきたいと思います。

<中島（一）>

用語集につきましては、おっしゃるとおりですが、前年度の引継ぎにあったので、記載しました。

<安野>

予算の件ですが、ビジターさんに渡す写真の予算が計上されていませので、計上されたほうがよいと思います。

特別会員は、F A X の予算ですか。郵送のほうがよいのでは。

山二商店ではなく、山仁酒店ですので訂正お願いいたします。

<八木>

10 番項の第 2 部の主旨のところ、メンバーが主語の部分が多いような気がします。

当日くるビジターさんの意見もあるのではないかと思います。

<中島（一）>

当日来ていただくビジターさんに関しましては、意見はいただきません。メンバーのみとしています。

<篠崎（たち）>

1 部の講演についてですが、タイトルと主旨と内容がずれている気がします。

また、内容は委員会で決めたのか、秘書課の方で決めたのか、またほかの候補があったのかお聞かせください。

<中島（一）>

内容といたしましては、われわれ J C として街づくりを行う中で宇都宮市と共同でやっていくとは思いますが、宇都宮市を一つの組織としまして宇都宮のトップであります、市長の考えという形で講演をいただきたい。まずそれを理解するということと、宇都宮市が政策として、かかっているものが、タイトルのテーマの選定理由になっていますが、市民みんなが幸せに暮らせる街とにいうことになっておりまして、私の方で要約して、みんなの住みやすい街宇都宮に向けて設定させていただきました。こちらに関しましては、委員会で検討した結果になります。

<篠崎（達）>

J C は単なる協議いいのかなと疑問があるのですが、さきがけとか、市の先を行った方がいいのでは中と思ったので、意見です。

村上理事長の所信とリンクしているのかを確認してください。

<山田>

10 番の事業内容の、第 1 部の主旨の 2 行目から 3 行目の、また自治会と民政員とのコミュニティーでの連携がうまくはかかれていないのが現状です。まず、民政員ではなく、正しくは民政委員だと思います。連携がうまくはかられていないとありますが、宇都宮市の HP みますと、頭のところに本市では市民協同の街づくりを推進しており主に自治会活動を活性化し取り組まれていると書かれており、自治会の取りくみが 10 数件上がっていますので、うまく連携ができていますので、もう一度考えていただいた方後よろしいのかと思います。

審議対象資料の宇都宮市の取り組みしめすとありますが、取り組みを示すだと思ひます。

もうひとつ、LOMの数が698とありますが、696とありますので訂正してください。

<中島(一)>

民政委員のほう訂正いたします。

実際連携が取れているか取れていないかは、いくつかのセミナーに参加しいくつかの自治会様が取れていないと聞いてまいりました。

全部がそうではないので、変更いたします。

アンケートも修正したいと思います。

<篠崎(達)>

2部のほうですが、市長との意見交換会、単なるアンケートによる質問になると、なにも勉強せず、行政のトップとの意見交換というよりも一問一答、意見交換をするのであれば、答弁できるようにしなければいけないと思います。キャッチボールができるくらいならないと失礼かなと感じました。

<小瀧>

御礼文の中で、佐藤様になっておりますが、佐藤栄一様に変更してください。

または、最初だけ宇都宮市長佐藤栄一様で、ほかは佐藤栄一様とかに統一してください。

<村上>

一点質問していいのですが、宇都宮JCは、宇都宮市が行っている街づくりを推進する団体ですか。

<中島(一)>

宇都宮市が行っているものも取り組みながら、われわれ独自の発想で発信していく団体だと思います。

<村上>

なにが言いたいというと、議案もそうですけど、案内文とかいろいろな資料を見ても立ち位置がずれていると思います。前回から指摘していると思うんですけど。あくまで宇都宮JCは宇都宮JC。僕も所信に行政のことは書いてありますけど、それを推進してくださいとは書いたつもりはないのですよね。街づくりをする団体として、知っていなくてはいけないですよね。そういうスタンスで、市長はJCの良き理解者ですが、宇都宮市が推進している街づくりが違うときは、違うというのが市民団体だと思うのです。だからその立ち位置だけはしっかり整理して、議案に反映して下しおねがいます。

期待しています。

協一〇五 〇二三〇ー二五一二二五K 筆頭副理事長の選任(案)について

<飯沼>

訂正がございます。

2014年度において副理事長順序の取決め非常時におけるとありますが、2014年度において副理事長の順序お取決めますと、訂正させていただきます。副理事長の皆様の順序につきましては、記載のとおりです。

以上慎重なるご協議宜しくお願い致します。

<福田(治)>

報告事業1番のところの、順番に違和感を感じましたか。

<飯沼>

感じました。なぜ筆頭とありながら、5名の順番を付けるのか、筆頭だけ決めればいいのか、ではないでしょうか。このような上程で申しわけありません。

<福田（治）>

副理事長の中で順番を決めたら、副理事長の中で何かあるのか。全員理事長を補佐する人間だし、誰でも「できるはずですよ。理事長がいけないのであれば、副理事長が全員で行くぐらいの気構えがあるはずですから、こののせかたはおかしい。口頭で説明すればいいだけです。違和感を持ったのならはっきりと話をしてください。総務委員長として平然と上程してくるところが、怖いと思いました。

<村上>

おもな主旨として、僕が病気でいなかったときに理事会の議長を誰がやるのか等が絡んでいるのですが、公益社団法人に移行してから、代表理事になるのでその職務は原則代行できないとかいう法律の部分があって、うまく議案に表現できていないと思うので専務と廣田議長と相談してうまく表現にしてください。

15. 報告依頼確認事項

報-1、 2014年度 組織図（案） ・ 対外出向者（案）について

<中島（崇）>

大塚幹夫君が、退会予定でしたが、継続していただけますので、全国招致会議に決定いたしました。暖かくお迎えください。

スタート人数 138名です。

対外出向ですが、随時私の方で募っておりますので、声がけさせていただいておりますので、よろしくお祈りします。

まだ栃木ブロックの最終確定しておりませんのでこれからお声がけは、各委員長ご協力をお願い申し上げます。

直近のことですが、澤畑監事がJCネットワーク委員会委員で出向することが決まりましたので報告いたします。

報-2、 2014年度 年間公式スケジュール（案）

<中島（崇）>

9月の関東地区大会成田大会が27・28日の2日になっております。

2月1日土曜日日光会議です。

2月5日水曜日会頭公式訪問です。宇都宮開催

6月でございますが、事業が追加になりました。

全国招致会議で1本公益事業をしていただくことになりました。

国際アカデミーが決まっている

栃木フォーラム 8月31日

さよならブロック 11月

世界大会の日程が変さらになっております。

16. 今後のスケジュール

17. 監事講評

<澤畑>

皆様お疲れ様でございます。栃木ブロックで頑張ってきたと思っております。

冒頭にですね、中島専務にいわれてしまいました。どうしても、言いたいです。

12時前に回ってきたので言います。メリークリスマス。本当に今日はクリスマスということで、30代の男性たちと過ごせたことがうれしく思います。クリスマスの日に、会議を4時間・5時間もできる、家庭をかえりみずできるメンバーな2014年はいいいみで安心」できるのかなと思いました。これだけ理事構成メンバーがあつまれるのなら、来年は乗り切れると確信いたしました。ただですね、理事長のあいさつにもあったと思いますが、家庭に理解、彼女、奥さんに理解してもらおうクリスマスの日に4時間も5時間も会議ができるって、なかなか理解されないのが本当に大切だと。妻が無関心ですので、無関心に関心に変えられるようにやっていきたいと思ひます。

真面目な話、内容をいっていきますけど、細かくいうつもりでわなひませんが、会議が長くなってしまった。意見をいうのはいいことなのですが、ある程度聞いていたんですけど、やはり新春交流にしても、市長囲む会にしても先ほどの筆頭副理事長にしても、たとえば新春交流にしてみると、この段階で、目的は何ですかと、聞かれるということは、疑問を持たれているということだと思ひますよね。

市長を囲む会、立ち位置がどうなのかと。今回はじめてだと思ひますけど。

副理事長の件もそうですね、本当にこれでいいのかと、そもそも委員長たちが自分たちが出す議案の内容を理解していないのが根本的にいけないのかと思ひます。だからこんなに遅くなってしまうところではないかと思ひてしまいます。今後予定者の段階で、追いつかないのかもしれませんが、委員長たちや、副委員長も上程してくると思ひますが、当たり前のことです、自分たちの事業何でやるのかとか、目的、そういったものをしっかり理解したうえで上程してください。そうすると質問も少なくなりますしね、意見も少なくなる、そうすると理事会が短くなる、そうすると、今日もクリスマスパーティーができたのですよ。

本当に貴重な時間ですので、無駄のないようにしていきたいと思ひます。

そろそろ12時ですので以上で監事好評とさせていただきます。

18. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第4回 理事予定者会議議事録

議 長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
黒 川 崇
澤 畑 敦 史

飯 野 貴 道